

令和元年12月栃木市教育委員会定例会会議録

令和元年12月栃木市教育委員会定例会を、令和元年12月27日栃木市役所に招集した。

1 本委員会の出席者は、次のとおり

青木千津子教育長 後藤 正人職務代理者 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員
大橋 孝子委員 館野 知美委員 林 慶仁委員

2 本委員会の欠席委員は、次のとおり

本委員会の欠席委員は、無し。

3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり

教 育 部 長	川 津 浩 章
生 涯 学 習 部 長	鶴 飼 信 行
教 育 総 務 課 長	江 面 健 太 郎
参 事 兼 学 校 教 育 課 長	大 阿 久 敦
学 校 教 育 課 主 幹	堀 江 真 哉
学 校 施 設 課 長	稻 田 菊 二
保 健 給 食 課 長	藤 平 恵 市
生 涯 学 習 課 長	佐 藤 義 美
公 民 館 課 長	三 柴 浩 一
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	飯 島 正 則
文 化 課 長	金 井 武 彦

4 本委員会の署名委員は、次のとおり

後藤 正人職務代理者

5 本委員会の書記は、次のとおり

教育総務課 主事 麻生 菜央

6 本委員会の会議案件は、下記のとおり

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 教育長報告

日程第3 議事

議案第43号 公職選挙法施行令第119条第2項の規定による個人演説会等の施設の程度
及び同令第121条の規定による個人演説会等の開催のために公職の候補者等
が納付すべき額の一部を改正する告示の制定について

議案第44号 栃木市スポーツマスターplan改訂版の策定に係るパブリックコメントの実
施について

日程第4 その他

《会議》

- 教 育 長 — 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —
- 教 育 長 日程第1 前回会議録の承認について、でございます。11月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様に配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。
- 異議なしの声 —
- 教 育 長 それでは、会議録への署名をお願いいたします。
- 令和元年11月定例教育委員会会議録に林委員が署名 —
- 教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。
- 資料に基づき報告 —
- 1 この秋の収穫から
- ①共同訪問を通して
 - ②栃木市指定、文科省委託公開研究発表会より
- 2 充実のときを迎えて特にお願いしたいこと
- ①「本市の目指す教育」を踏まえ、今後の教育実践の更なる充実を
 - ②いじめ・体罰のない学校の実現に向けた不断の取組を
 - ③SNS を介したトラブル等発生の未然防止を
- ご質問等ございましたら、お願いいいたします。
- 福島委員 赤津小学校の共同訪問で、「不易と流行が見事に調和している」というコメントがあります。実際に足を運んだ方ならば、学校の雰囲気や施策を見ているので分かると思うのですが、具体的にどのようなことなのでしょうか。
- 教 育 長 これは、県教委からの訪問者の一人がコメントしたもので、何十年も前から脈々と地域に息づいている文化や、長く続いている学校行事など、昔から大切にしているものを引き継いでいる一方で、プログラミング教育や外国語活動、英語科など、今ならではの教育内容に対しても果敢に挑戦しているということで「不易と流行」という言葉を使ったのだと思います。
- 他にいかがでしょうか。
- 後藤委員 先日、赤津小学校へ学校訪問に行きました。赤津小学校だけでなく、他の学校へ訪問する際にも常々感じていることなのですが、栃木市の小中学校は古くから伝わる学校の文化や伝統を大事にしています。それだけではなく、子どもにとって必要なことは勇気を持って取り入れようとする姿勢も伺えます。大変素晴らしいことだと思います。そのうえ、今まで受け継がれてきた長きにわたる学校の伝統を、新しいことに関連付けているのもポイントだと思います。
- その一方で、学校の先生は真面目ですので、子どもたちにとってプラスになるものを何でも取り入れてしまいます。取り入れ続けた結果、人間で例えるならばメタボリックシンドロームになってしまいがちです。勇気を持って取り組みをやめていくことも必要だと思います。そのような考え方がないと、仕事が増える一方でキャリアアップにはつながらず、指導する先生の負担が増えてしまいます。そういう意味で、栃木市は「不易と流行」という言葉が実に調和している地域だ

と思います。

教育の流れが大きく変わるとときに必ず出てくる言葉が「不易と流行」です。学習指導要領が変わり、新しい教育の流れが始まったばかりなので、教育関係の書籍にも「不易と流行」という言葉が多く見受けられます。大きな変動の時期だからこそ、原点を見つめ直すべきだと思います。栃木市においても、取り組みを校長先生筆頭に進めていらっしゃると聞き、感心しております。

教 育 長

ありがとうございます。

後藤委員のご意見にもありましたが、先生は真面目なので、子どもたちのために良いことは何でもやってあげようという傾向にあります。その結果、負担が増えてしまったり、一つひとつに時間や労力をかけられなくなり、教育の質が低下してしまうこともあります。だからこそ、新しいものを取り入れる際には一つやめるといったようなスクラップアンドビルドが大切だと思います。

他にいかがでしょうか。

大 橋 委 員

共同訪問と学校訪問の対象校はどのように選ばれるのでしょうか。また、サイクルもあるようでしたら知りたいです。

教 育 長

共同訪問は「共同」という言葉が示すように、県教育委員会の出先機関である下都賀教育事務所と市教育委員会が共に訪問するものとなっております。約5年に一度というスパンで回っております。栃木市のような規模の自治体ですと、下都賀管内では毎年7～8校程度が対象となっております。

共同訪問は8時から17時近くまで丸一日滞在し、学校の教職員全員の授業を見たり、諸表簿等も全てチェックするといったように、人間で例えるならば人間ドックのようなものです。

教育総務課長

学校訪問につきましては、栃木市内小中学校44校ございますので、教育委員の任期が4年であることを考慮したうえで、1年間に10校程度を訪問することになっております。1度の任期で40校程度を訪問できるよう予定を設定させていただいております。

教 育 長

学校訪問は共同訪問より時間的にコンパクトになっています。児童生徒とともに給食を食べていただきたり、授業を見ていただいております。

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

ありがとうございます。

次に、日程第3 議事に入らせていただきます。議案第43号 公職選挙法施行令第119条第2項の規定による個人演説会等の施設の程度及び同令第121条の規定による個人演説会等の開催のために公職の候補者等が納付すべき額の一部を改正する告示の制定について、を議題といたします。教育総務課 江面課長より説明をお願いします。

— 議案に基づき説明 —

議案第43号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長

それでは、議案第43号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長

異議なきものと認め、議案第43号について、可決いたします。

次に、議案第44号 栃木市スポーツマスターplan改訂版の策定に係るパブリックコメントの実施について、を議題といたします。スポーツ振興課 飯島課長より説明をお願いします。

— 議案に基づき説明 —

スポーツ振興課長
教 育 長
福 島 委 員

議案第44号につきまして、ご質問等ございましたらお願ひいたします。

今週の新聞で、栃木県の子どもたちの体力が落ちているという記事を見かけました。さらに、今年はボール投げで全国最下位になってしまったようです。これは大変深刻な問題だと思います。

栃木市マスターplan改訂版（素案）の59ページに「幼少期からの子どもの体力向上方策の推進」と記載があります。栃木県は毎回体力テストでは最下位に近い順位であるのが現状です。方策を練ったり、原因を追究するのは難しいでしょう。

後 藤 委 員

昔は正月というと子どもは原っぱで凧を揚げたり、コマを回したり、日常的に遊びの中で体を動かすことが多かったように感じます。ところが、今の子どもを見てみると、ほとんどが家でゲームをして遊んでいます。以前から言われていることですが、今の子どもは昔の子どもより手先が器用になる反面、目が悪くなり運動量は激減しております。

親が外で遊ぶように推奨するかというと、不審者情報や子どもが行方不明になつたという事件事故を見聞きすることにより、外遊びに対して不安を抱いてしまいます。では、公園で遊ぶかというと、公園は大人の発想で作っているものですので、子どもにとっては無味乾燥なものになります。子どもたちには原っぱがあれば良いのですから。

小学校はカリキュラムがぎしぎしに詰まっていますので、早朝や放課後に担任の先生と汗水流して遊ぶということが難しいでしょう。ですから、幼児教育において、裸足で園庭を走り回ったりすることが大切なのではないかと思います。

教 育 長

自分が子どもの頃の遊びと比べると、活動量の違いを感じます。昔は遊び 자체が運動でした。

福 島 委 員

栃木県は体力テストの順位が毎回下の方なので、気になっていました。栃木県と栃木市では異なる傾向を示しているのでしょうか。

学校教育課長

今まで、本市だけでなく栃木県全体においても、小学校では下位にあり、中学校では少しづつ順位が上がっている傾向がありました。しかし、今回の調査では中学校も順位が下がっております。

特に、投げたり跳んだりする種目において、順位が伸び悩んでおります。それを受けて、県を挙げ、体育の授業などで対策を講じているところであります。市教委においても、各学校に指導をし、学校も取り組みを行っているところであります。しかし、週に3回程度の体育の授業だけで体力の向上を図るというのは難しく、体育の授業で学んだものをどのように活用していくかが重要になってきます。小学校においては、子どもたちが積極的に外で遊び、担任だけでなく年配の先生方も外で遊んでいる姿をよく見ますが、絶対量が少ないことは明確です。

- 都市部のスポーツ施設が充実している地域では、放課後子どもたちが施設を利用しながら運動し、昔は外で遊び、運動量も多かった農村部では家の中でゲームをしている傾向にあるという話を聞いたことがあります。最近では、都市部と農村部の間で逆転現象が起きているのではないかと推測されます。
- 学校としても、体力というのは学力をつけるうえで基礎になるものですので、体力の向上にむけた指導をしていきたいと考えております。
- 体格については、本県の児童生徒は他県と比較して体重が重い子が多いという結果が出ております。体力と体格の間には相関関係があるのかもしれません。
- 他にいかがでしょうか。
- 昔から体を動かす体育施設は河川敷に多いですよね。台風19号の影響で使用ができなくなった施設はあるのでしょうか。
- 思川沿いに体育施設は3か所ございます。その3か所すべてが多大な被害を受けました。今のところ復旧の見通しは立っていない状況になっております。
- 他にいかがでしょうか。
- 質問なし —
- それでは、議案第44号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。
- 異議なしの声 —
- 異議なきものと認め、議案第44号について、可決いたします。
- 次に、日程第4 その他 に入ります。教育委員による学校訪問について、館野委員より報告をお願いします。
- 教育委員学校訪問報告書に基づき報告 —
- ありがとうございます。
- こちらに参加された福島委員、大橋委員から他に何かございますでしょうか。
- 大平西小学校にはとても広いオープンスペースがありました。先日訪問した寺尾小学校にもオープンスペースがあったのですが、それとはまた印象が違いました。学校の設計はどのように決めているのでしょうか。
- 学校の設計につきましては、最初の段階で学校側の意向や希望も取り入れております。学校建築に関する整備検討委員会を立ち上げ、その中の意見を聞きながら建築専門の設計事務所に業務委託をします。その際は、基本設計及び実施設計、工事といったように順序を追って発注しております。
- 先述したとおり、同じオープンスペースであっても、寺尾小学校と大平西小学校では、個人的にかなり印象が違いました。
- 寺尾小学校は可動式の壁があるので仕切ることもできますが、大平西小学校は仕切ることができないようでした。収納など、それぞれのメリット・デメリットがあると思いますが、今後新しい学校を作る際に活かしていただきたいと思います。
- 大平西小学校の特徴として「学び合い学習」が挙げられると思います。校長先生が子どもたちのコミュニケーション能力を高めることを意識しており、低学年の頃からいろんな人の意見を聞いたうえで、自分の意見を言うという学習方法を採っておりました。大平西小学校では、どの学年も人と話すことが好きな子が多く、子どもたちが積極的に人と関わり合っているのが印象に残っております。これこ

学校施設課長 そが「学び合い学習」の成果だと思います。
また、館野委員からのご報告にもありましたが、災害関係では蓄熱暖房設備が壊滅的な被害を受けており、膨大な改修費がかかると推測されますが、子どもたちのためにも迅速な対応が必要だと思います。

教 育 長 改修工事につきましては、今回被災した他の学校と合わせまして、1月15日及び16日に財務省の災害復旧費調査が予定されております。その際に被災の状況や復旧方法の査定を行い、その後本格的に対応を進めていくことになっております。

後 藤 委 員 他にいかがでしょうか。
大橋委員からの質問に関係するのですが、オープンスペースを有した学校に、私も勤務していたことがあります。県内で初めてオープンスペースを採用した学校ということで、他の都道府県や教育委員会からの視察がいまだに絶えない学校です。当時の校長先生の計らいで、他県のオープンスペースを有する学校へ何度も出張し、どの学校よりも良いものを作ろうと試行錯誤した結果、完成したオープンスペースでした。だからこそ、市内の他の学校も本校の真似をし、オープンスペースを有した学校が立ち上りました。

ところが、後から立ち上がった学校の先生方は3年経過すると胃が痛くなつて異動希望を出されていました。間仕切りがないオープンスペースで自分の授業を見られることによって、精神的に苦痛を感じる方が多かったのでしょうか。

私がいた小学校は、手前味噌で申し訳ないのですが、異動者がほとんどいませんでした。その違いは何かというと、設計事務所には最後に来てもらったことだと思います。教科主任、学年主任が定期的に何十回も集まり、使い勝手や子どもの動静などを考えて、専門家ではなく実践家の目線で校舎の青写真を作ったことが大きかったのでしょうか。だからこそ、新しい校舎が完成した際には、自分たちが生んだ子どものように校舎に対して非常に愛着が湧きました。

専門家が校舎の青写真を作成し、校長先生、教頭先生、教科主任に確認してもらうだけでは宛てがい扶持の校舎になってしまいます。だからこそ、校舎を使いこなせず、せっかくのオープンスペースが物置になってしまいます。

私が勤務していた学校において、視察がいまだに絶えない理由は、先生が自主的に校舎の青写真を作成したことによるのではないかと思います。

大 橋 委 員 また、発達障がいのある子どもたちについては、オープンスペースだと気になることが多いのではないかと思いました。

教 育 長 オープンスペースの使い方に関しては各学校で研究あるいは検討する必要があると思います。大平西小学校の先生たちはオープンスペースを使い慣れていると聞きましたが、オープンスペースの経験がない先生が異動してきたときに、どのように活用方法を見出せるかが焦点になるのかもしれません。

また、総合的な学習の時間や生活科の際には、多種多様な学習形態や活動形態を探ることができるため、オープンスペースは非常に使い勝手が良いのではないかと思います。

様々な貴重なご意見ありがとうございました。

他にご質問等いかがでしょうか。

— 質問なし —
教 育 長 よろしいでしょうか。
次に、令和元年12月議会における教育委員会に関する一般質問の答弁概要について、川津教育部長 及び 鵜飼生涯学習部長より説明をお願いします。

教 育 部 長 — 資料に基づき説明 —
生涯学習部長 — 資料に基づき説明 —
教 育 長 ありがとうございました。
ただ今、教育部関連、生涯学習部関連の一般質問の概要につきまして、説明がありましたが、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —
教 育 長 よろしいでしょうか。
次に、各課報告をお願いします。

各 課 長 — 各課報告書等に基づき報告 —
教 育 長 ありがとうございました。ただ今、各課より報告がございましたが、改めて確認されたいことや、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なしの声 —
教 育 長 ありがとうございます。
以上で、本日の案件は全て終了いたしました。
それでは、これをもちまして本日の定例教育委員会を終了いたします。

—— 午前10時44分委員会の閉会を宣した。——

令和元年12月27日

教育長

署名委員